

デザインレビュー [all/7ページ] ページ毎に表示 HTML保存  
PC版表示 タブレット版表示 スマートフォン版表示 携帯版表示

文字サイズ: + - RESET

## AYA世代がん患者診療に関する専門医に対する調査

- ※ 回答画面ではブラウザの"戻る"、"次へ"ボタンはご利用いただけません。
- ※ ページを移動する場合は必ずページ内にある  と  をご利用ください。
- ※ 回答を途中で終了する場合は画面右上の  ボタンをクリックしてください。
- ※ \*マークのある質問は必ずご回答ください。

0%

このアンケートは、各学会の許可を得て、専門医に思春期・若年成人 (Adolescent and Young Adult, AYA) のがん診療の実態調査を目的しておこなうものです。

実態把握により課題を抽出することが目的ですので、御自身の診療内容に基づいてお答え下さい。

このアンケートは以下の項目から構成されています。

- ・ 回答者の背景(1~9)
- ・ AYA世代の認識(10~11)
- ・ AYA世代がん患者の診療(12~30)
- ・ 妊孕性・生殖機能(31~42)
- ・ AYA世代がん患者のニーズ認識(43~96)
- ・ AYA世代がん患者への診療・対応の困難感(97~128)
- ・ AYA世代がん患者とのコミュニケーション(110~122)
- ・ AYA世代がん患者への告知・病状説明(123~128)
- ・ AYA世代がん患者への診療・対応の促進/阻害要因(129~141)
- ・ その他、AYA世代がん患者家族の診療体制等についての意見(自由記載)(142)

以上、142の質問がありますが、**各ページまたは各項目で一時保存可能です**。再開することにより、残りの質問に答えることが可能です。すべてを回答した後に最終ページの送信ボタンを押して完了してください。

回答に際して、患者数などは概数で差し支えありません。また、「複数回答可」と指示のある質問以外は、複数の選択肢が該当する場合、もしくは、どの選択肢も該当しない場合には、もっとも近いと思われる選択肢に回答をお願いします。

お答えいただいたデータは、個人が特定できないかたちで集計し、あなたのプライバシーは守られます。

0%

## 【回答者の背景】

## 1. 年齢(カテゴリー) \*

- ~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~60歳
- 60歳以上

## 2. 性別 \*

- 男
- 女

## 3. 診療科 \*

- 腫瘍内科                       血液内科                       外科
- 乳腺科                               婦人科                               整形外科
- 脳外科                                 内分泌内科                       泌尿器科
- 小児科                                 小児外科                               その他(具体的に: )

## 4. 専門医(複数回答可) \*

- がん薬物療法専門医               小児血液・がん専門医・暫定指導医       血液専門医
- 乳腺専門医                               婦人科腫瘍専門医                       産婦人科専門医
- 甲状腺専門医                               眼科専門医                               耳鼻咽喉科専門医
- 泌尿器科専門医                               脳神経外科専門医                       整形外科専門医
- 消化器外科専門医                               呼吸器外科専門医                       小児外科専門医

- |  |                                   |                                    |
|--|-----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 気管食道科専門医                    | <input type="checkbox"/> 大腸肛門病専門医 | <input type="checkbox"/> 口腔外科専門医   |
| <input type="checkbox"/> 放射線科専門医                     | <input type="checkbox"/> 消化器病専門医  | <input type="checkbox"/> 消化器内視鏡専門医 |
| <input type="checkbox"/> 呼吸器専門医                      | <input type="checkbox"/> 腎臓専門医    | <input type="checkbox"/> 肝臓専門医     |
| <input type="checkbox"/> その他( <input type="text"/> ) |                                   |                                    |

## 5. 施設 \*

- |                            |                                  |   |
|----------------------------|----------------------------------|---|
| <input type="radio"/> 大学病院 | <input type="radio"/> がん専門病院     | <input type="radio"/> 小児専門病院                      |
| <input type="radio"/> 総合病院 | <input type="radio"/> その他の病院/診療所 | <input type="radio"/> その他( <input type="text"/> ) |

## 6. 貴施設はがん診療拠点病院ですか。 \*

- はい
- いいえ

## 7. 貴施設には産婦人科または婦人科がありますか。 \*

- ある
- ない

## 8. 貴施設は日本産科婦人科学会ART(生殖補助医療)登録施設ですか。(日本産科婦人科学会ART登録施設に該当するかどうか不明な場合は、お手数ですが、貴施設の産婦人科にお尋ねください) \*

- はい
- いいえ

## 9. 貴施設の都道府県をお答え下さい。 \*

--↓--

戻る

次へ

4%

▶ここまでの回答を保存し終了する

## 【AYA世代の認識】

**10.** 「AYA」とはAdolescence and Young Adultの略語で、主に思春期・若年成人世代のがん患者のことを「AYA世代がん患者」と言います。「AYA」という言葉を知っていましたか。\*

- 知っている
- 知らなかった
- その他(具体的に: )

**11.** あなたは、AYA世代は何歳から何歳までと考えますか。\*

歳から  歳まで

以降、この調査では、「AYA世代がん患者」を概ね15歳以上39歳未満のがん患者として、お伺いいたします。

## 【AYA世代がん患者の診療】

**12.** AYA世代がん患者さんを診療する場合、AYA世代がん患者であることを意識して診療していますか。\*

- はい
- いいえ

**13.** AYA世代がん患者は、小児科がん患者、AYA世代を超える成人がん患者に比べて特別な配慮が必要だと思いますか。\*

- 思う
- 思わない
- 意識したことがない

**14.** あなた、もしくは、あなたの診療科では、AYA世代がん患者をどの診療科で診療をしていますか。年齢階層別でお答えください。\*

- 1.小児診療科(小児科・小児外科等)のみで診療  
2.成人診療科のみで診療  
3.小児診療科が主で必要に応じて成人診療科で診療  
4.成人診療科が主で必要に応じて小児診療科で診療  
5.他院に紹介する

15-17歳

18-19歳

20-24歳

25-29歳

30-39歳

--↓--

--↓--

--↓--

--↓--

--↓--

**15.** AYA世代がん患者の入院診療において最も必要な診療体制はどれですか。年齢階層別でお答えください。\*

- 1.AYA世代担当病棟  
2.AYA専用病室  
3.AYA診療チーム  
4.特別な配慮は必要ない  
5.その他( )

15-19歳

20-24歳

25歳以上

--↓--

--↓--

--↓--

その他( )

その他( )

その他( )

**16.** 小児期に治療を受けたがん患者の成人後の望ましいフォローアップ体制はどれだと考えますか。\*

- 小児期の診療科が引き続き主科となり成人診療と連携しておこなう
- 成人専門診療科に引き継ぐ
- 総合診療医に引き継ぐ

- 地域かかりつけ医に紹介
- フォローを終了する
- その他(  )

**17.** 上記の理由は何ですか。(複数回答可) \*

- 小児科の方が慣れているから
- 成人診療科で診療する事ができないと感じるから
- 患者の希望やこれまでの関係から
- 小児科では高血圧など成人特有の合併症を診療する事ができないから
- 病院・診療科の方針
- 患者の利便性
- その他(具体的に:  )

**18.** あなたはAYA世代のがん患者を何人診療していますか(カテゴリ): 患者年齢階級別に、以下の6つのカテゴリからお選びください。⑥の場合はおおよその人数を記載ください。\*

①0人 ②1~5人 ③6-10人 ④11~20人 ⑤21~30人 ⑥31人以上(おおよそ 人)			
15-19歳	20-25歳	26-29歳	30-39歳
<input type="text" value="--↓--"/>	<input type="text" value="--↓--"/>	<input type="text" value="--↓--"/>	<input type="text" value="--↓--"/>
おおよそ <input type="text"/> 人	おおよそ <input type="text"/> 人	おおよそ <input type="text"/> 人	おおよそ <input type="text"/> 人

**19.** 貴診療科でのこの1年間でのAYA世代がん新規患者数(カテゴリ): 患者年齢階級別に以下の6つのカテゴリからお選びください。⑦の場合はおおよその人数を記載ください。\*

①0人 ②1~2人 ③3~5人 ④6~10人 ⑤11~15人 ⑥15~20人 ⑦21人以上(おおよそ 人)			
15-19歳	20-25歳	26-29歳	30-39歳
<input type="text" value="--↓--"/>	<input type="text" value="--↓--"/>	<input type="text" value="--↓--"/>	<input type="text" value="--↓--"/>
おおよそ <input type="text"/> 人	おおよそ <input type="text"/> 人	おおよそ <input type="text"/> 人	おおよそ <input type="text"/> 人

**20.** AYA世代がん患者の診断について、小児科がん患者、AYA世代を超える成人がん患者に比べて、症状を自覚してから医療機関受診まで時間がかかっていると思いますか。\*

- 明らかにかかる
- かかる傾向にある
- 変わらない
- 早い傾向にある
- 明らかに早い

**21.** AYA世代がん患者の診断や治療について、小児科がん患者、AYA世代を超える成人がん患者に比べて、診断や治療開始までに要する時間は長いと思いますか。\*

- 明らかに長い
- 長い傾向にある
- かわらない
- 短い傾向にある
- 明らかに短い

**22.** AYA世代がん患者の診断時の病期は、小児科がん患者、AYA世代を超える成人がん患者に比べて、進行していると思いますか。\*

- 明らかに進行している
- 進行している傾向にある
- 変わらない
- 早期の傾向がある
- 明らかに早期

**23.** 上記質問21でAYA世代がん患者の診断や治療開始が遅れる(明らかに長い、または、長い傾向にある)と回答した方、または、上記質問22でAYA世代がん患者の診断時の病期が進行している(明らかに進行している、進行している傾向にある)と回答した方にお尋ねします。その理由は何だと思えますか。\*

- 学校や仕事

- 重篤な症状と認識しない患者自身の意識
- 重篤な病気と診断される患者の恐怖心
- 受診すべき適切な医療機関が不明
- 重篤な症状と認識しない医療者の意識
- 経済的な問題
- 診断が難しい
- その他(具体的に: )

**24.** AYA世代がん患者の臨床研究への参加が少ないと言われています。AYA世代がん患者の臨床研究への参加を妨げる要因はあるとすれば、それは何ですか。\*

1. 対象となる臨床研究がない
2. 参加施設が限定されている
3. 学校や仕事への配慮のため説明をしない
4. 本人が参加を希望しない
5. 妨げる要因はない

15-19歳

20-24歳

25歳以上

--|--

--|--

--|--

AYA世代がん患者への診療について、患者年齢階級別に下記の数字でお答えください。少数例の経験からの印象でも結構です。\*

4. いつもおこなっている 3. ときどきおこなう 2. あまりおこなわない 1. 全くおこなわない 0. 診療していない

15-19歳 20-24歳 25-29歳 30-39歳

25. あなたがAYA世代(15歳～39歳)がん患者を診療する場合に、患者に、プライバシーが守られること(守秘義務)について説明し、意見交換をおこなっていますか。	-- --	-- --	-- --	-- --
26. 診断、治療など診療に関する説明は文書を用いておこなっていますか。	-- --	-- --	-- --	-- --
27. 診療は、学校、仕事、社会生活などを配慮しながら、おこなわれることを説明し、意見交換をおこなっていますか。	-- --	-- --	-- --	-- --
28. 病気や治療が交友関係や性機能に影響する可能性があることを説明し、意見交換をおこなっていますか。	-- --	-- --	-- --	-- --
29. 治療後も、医学的、社会心理的な治療援助を継続的におこなうことを説明し、意見交換をおこなっていますか。	-- --	-- --	-- --	-- --
30. 意思決定に際し、親とは別に、本人のみに個別に説明していますか。	-- --	-- --	-- --	-- --



[戻る](#)[次へ](#)

24%

[▶ここまでの回答を保存し終了する](#)**【妊孕性・生殖機能】**

**31.** 悪性腫瘍やその治療が妊孕性や性腺機能(内分泌)に与える影響(影響がない場合でも影響がないと言う)を説明することはAYA世代のがん患者を診療する上で重要であると思いますか。\*

- a. とても重要
- b. ある程度重要
- c. どちらともいえない
- d. あまり重要でない
- e. まったく重要でない
- f. 説明しないほうがいい

c, d, e, fとお答えになられた場合の理由 \*

**32.** 妊孕性温存(凍結等)の説明をどのように実施していますか。\*

- a. 自分(もしくは自科)で実施
- b. 院内の他科に依頼
- c. 地域の産婦人科、不妊クリニックと連携

- d. 地域のがん・生殖医療ネットワーク(具体名: )と連携
- e. その他()
- f. 説明していない
- g. 説明は不要と考える

**33.** 精子・卵子や性腺機能(内分泌)に影響を与える治療(化学療法や放射線照射)を実施する際にご自身が行っている内容についてお答えください。

1) 性腺機能低下(内分泌異常)発症の可能性を説明していますか。\*

- a. 必ずおこなっている
- b. 状況に応じておこなっている
- c. 必要と思うが、おこなっていない
- d. おこなう必要がないので、おこなっていない
- e. そのような可能性を知らなかった

2) 不妊となる可能性を説明していますか。\*

- a. 必ずおこなっている
- b. 状況に応じておこなっている
- c. 必要と思うが、おこなっていない
- d. おこなう必要がないので、おこなっていない
- e. そのような可能性を知らなかった

3) 妊孕性温存(凍結等)の方法があることを説明していますか。\*

- a. 必ずおこなっている
- b. 状況に応じておこなっている
- c. 必要と思うが、おこなっていない

- d. おこなう必要がないので、おこなっていない
- e. そのような方法があることを知らなかった

4) 妊孕性温存(凍結等)の方法があることの情報はどうに入手しましたか。(複数回答可)\*

- a. 自己学習(文献・インターネット等)
- b. 産婦人科、泌尿器科の医師に相談して
- c. 学会・研修会を通じて
- d. 地域のがん・生殖医療ネットワーク(具体名: )を通じて
- e. その他()

34. 妊孕性温存(凍結等)の具体的な方法を説明していますか。\*

- a. 必ずおこなっている
- b. 状況に応じておこなっている
- c. 必要と思うが、おこなっていない
- d. おこなう必要がないので、おこなっていない
- e. そのような方法があることを知らなかった

1) 妊孕性温存(凍結等)の方法について説明している内容は、以下のうち、どれでしょうか。(複数回答可)\*

- a. 精子凍結
- b. 精巣組織凍結
- c. 未受精卵凍結
- d. 受精卵凍結
- e. 卵巣組織凍結
- f. 卵巣移動術
- g. GnRHa卵巣休眠療法

- h. 卵巣遮蔽
- i. その他(  )

## 2) 妊孕性温存(凍結等)の具体的な方法に関する情報はどのように入手しましたか。(複数回答可)\*

- a. 自己学習(文献・インターネット等)
- b. 産婦人科、泌尿器科の医師に相談して
- c. 学会・研修会を通じて
- d. 地域のがん・生殖医療ネットワーク(具体名: )を通じて
- e. その他(  )

## 35. 妊孕性温存(凍結等)を行う具体的な施設(自施設含む)があることを説明していますか。\*

- a. 必ずおこなっている
- b. 状況に応じておこなっている
- c. 必要と思うが、おこなっていない
- d. おこなう必要がないので、おこなっていない
- e. そのような施設があることを知らなかった

## 1) 妊孕性温存(凍結等)をおこなっている具体的な施設に関する情報はどのように入手しましたか。(複数回答可)\*

- a. 自己学習(文献・インターネット等)
- b. 産婦人科、泌尿器科の医師に相談して
- c. 学会・研修会を通じて
- d. 地域のがん・生殖医療ネットワーク(具体名: )を通じて
- e. その他(  )

**36.** 自施設、他施設を問わず、治療前(もしくは早期)に妊孕性や性腺機能(内分泌)に与える影響に関して患者に十分な情報提供ができていますか。\*

- a. 十分にできている
- b. ある程度できている
- c. どちらとも言えない
- d. あまりできていない
- e. 全くできていない
- f. 説明をおこなっていない

**37.** 妊孕性や性腺機能(内分泌)に与える影響に関して情報提供を十分におこなうために必要なことはどれだと考えますか。(複数回答可)\*

- a. 講演会やセミナーによる知識の習得
- b. マニュアル、ガイドライン、説明文書など資材や資料の充実
- c. 説明をおこなうための診療時間
- d. 院内体制の整備
- e. 専門におこなっている施設や専門機関に関する情報
- f. その他(  )

**38.** 妊孕性や性腺機能(内分泌)に関する説明を実施する体制として、望ましいのはどれだと考えますか。\*

- a. 自分(自科)または施設内で実施
- b. 近隣の専門施設(不妊クリニック等)と連携して実施
- c. 公的ながん・生殖医療相談センター的な機関と連携して実施

**39.** 妊孕性や性腺機能(内分泌)に関する説明を施設内で実施する場合に必要な体制や情報は十分に整備されていると思いますか。\*

- a. 十分整備されている

- b. ある程度整備されている
- c. どちらともいえない
- d. あまり整備されていない
- e. まったく整備されていない

**40.** 妊孕性や性腺機能(内分泌)に関する説明を施設内で実施するために必要な体制は、以下のうちどれだと思いますか。(複数回答可) \*

- a. マニュアル、ガイドライン、説明文書など資材や資料の充実
- b. 院内の看護師、相談員、臨床心理士の支援体制
- c. 講演会やセミナーの実施
- d. その他(  )

**41.** 妊孕性温存(凍結等)処置の中で、実施(依頼)しているものはどれですか。(複数回答可) \*

- a. 精子凍結
- b. 精巣組織凍結
- c. 未受精卵凍結
- d. 受精卵凍結
- e. 卵巣組織凍結
- f. 卵巣移動術
- g. GnRHa卵巣休眠療法
- h. 卵巣遮蔽
- i. その他(  )
- j. すべて実施できないので他施設へ依頼している
- k. 実施は必要ない

**42.** 妊孕性温存(凍結等)処置を実施する体制として、望ましいのはどれですか。(複数回答可) \*

- a. 自分(自科)または施設内で実施
- b. 近隣の専門施設(不妊クリニック等)と連携して実施
- c. 公的ながん・生殖医療相談センター的な機関と連携して実施



▶ここまでの回答を保存し終了する

**【AYA世代がん患者のニーズ認識】**

あなたは思春期・若年成人がん患者・サバイバーが以下の支援を必要としていると思いますか。また、貴施設ではこれらの支援を実施しているかについて、あてはまるものをお答えください。\*

	とても 思う	そう 思う	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	→	実施 した こと がある	実施 した こと がない	対象 事例 がない
43. 迅速な診断、適切な専門医・治療機関への紹介	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
44. 病名告知及び診療情報提供	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
45. 診断時からの情緒心理面	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
46. 思春期・若年成人世代に対する十分な知識と技術をもった専門職の配置	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
47. 治療後の後遺症・合併症	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
48. 外見の変化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
49. 教育の継続・復学・進学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
50. 就労・就労の継続	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
51. 医療費や経済的問題	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

52. 治験や新しい治療方法に関する情報提供、参加についての意思決定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
53. 治療に関するアドヒアランス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
54. 医療者との円滑で適切なコミュニケーション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
55. 多職種による治療・ケア・社会福祉サービス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
56. 家族との関係性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
57. 友人との関係性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		とても と思う	そう 思う	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		実施 した こと がある	実施 した こと がない	対 象 事 例 が い ない
58. 恋愛	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
59. 性生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
60. セクシャリティ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
61. 結婚・結婚生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
62. 妊孕性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
63. 食生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
64. 味覚・嗅覚・食嗜好の変化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
65. 体力の維持、または運動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
66. 退院後の生活	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
67. 患者本人の将来	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
68. 家族の将来	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
69. 家族の心理社会的問題	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
70. どう生きたいか(どう死にたいか)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
71. 他の思春期・若年成人期発症のがん患者・経験者との交流	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
72. 年齢に適した治療環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
73. その他(具体的に: <input "="" type="text" value="&lt;i&gt;[ID:148_0への回答(&lt;span style="/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

エラー: 存在しない質問]]">



AYA世代がん患者が治療中に、医療スタッフに期待する行動・態度について、あなたはどの程度期待されているとお考えですか。また、あなたご自身は、これらを実践できていると思いますか。実践できている項目についてはチェックを、あなたが感じたAYA世代がん患者のもつ期待の高さについて、あてはまるものをお答えください。\*

以下のようなことをする医療スタッフ	あなたは実践 できていますか		AYA世代がん患者にとって これらの医療スタッフは				
	でき てい ない	でき てい る	期 待 さ れ て い ない	期 待 は 低 い	普 通 に 期 待	期 待 が 高 い	非 常 に 期 待 さ れ て い る
74. 話を聴いてくれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
75. 一人の個人として扱ってくれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
76. 敬意をもってくれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
77. 近づきやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
78. 親しみが持てる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
79. 一緒に笑うことが出来る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
80. 何をしているか説明してくれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
81. わかりやすい言葉で話してくれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
82. 感じていることを話させてくれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
83. 質問がしやすい雰囲気がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
84. 自分の治療に関して、意向を決めさせてくれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
85. 家族のいないところで話す場を作ってくれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**86.** もし、がんが治らない場合、あなたは、どちらの方針をAYAがん患者に推奨しますか。当てはまる番号1つをお答えください。\*

- 1. 副作用が強い治療であっても、わずかでも効く可能性がある抗がん剤を推奨する
- 2. 副作用が強い治療があれば、効くか分からない抗がん治療は推奨しない

AYA世代がん患者にとって以下の事柄は、どれくらい大切だとあなたは思いますか。\*

	不可欠である	かなり大切	まあまあ大切	少し大切	全く大切ではない
87. からだや心のつらさが和らげられていること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
88. 家族や他人の負担にならないこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
89. 他人に弱った姿を見せないこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
90. 望んだ場所で過ごすこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
91. 落ち着いた環境で過ごすこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
92. できるだけ治療を受けること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
93. 負担になる治療はなるべく避けること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
94. 残された時間を知ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
95. 残された時間を意識しないで過ごすこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
96. 信仰に支えられていること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

戻る

次へ



▶ここまでの回答を保存し終了する

【AYA世代がん患者への診療・対応の困難感】

AYA世代がん患者への診療・対応の困難について、患者年齢階級別に下記の数字で教えてください。少数例の経験からの印象でも結構です。\*

- 4. 困難に思う:この年齢帯患者で特に困難を感じる
- 3. 困難に思う:他の年代の患者と同じ程度に困難を感じる
- 2. 少し困難に思う:他の年代の患者と同じ程度に
- 1. 全く困難に思わない
- 0. 経験がない:この問題について経験したことがない

15-19歳 20-24歳 25-29歳 30-39歳

97. 患者の意思決定への対応

98. 予後不良の告知	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
99. 臨床試験に関する問題	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
100. 身体面のケア(痛みのコントロール等)	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
101. 心理・情緒面のケア	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
102. 治療拒否・脱落	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
103. 受験・進学・復学等、教育の継続	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
104. 就職活動・復職・転職等の就労支援	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
105. 患者・家族とのコミュニケーション	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
106. 家族関係・家族の問題	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
107. 友人・異性(恋人)・パートナーの問題	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
108. 性・生殖機能の問題	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--
109. 生活費・医療費等の経済的問題	--↓--	--↓--	--↓--	--↓--

あなたは、AYA世代がん患者の診療時に、以下のそれぞれの項目についてどのようにお考えになりますか。それぞれ最もよくあてはまるもの1つをお答えください。\*

	全くそう 思わない	そう 思わない	あまり そう 思わない	やや そう 思う	そう 思う	非常 に そう 思う
<b>コミュニケーションに関すること</b>						
110. 十分に病名告知や病状告知をされていない患者とのコミュニケーションが困難である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
111. 転移や予後など「悪い知らせ」を伝えられた後の患者への対応が難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
112. 患者と十分に話をする時間がとれない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
113. 患者から不安や心配を表出された場合の対応に困難を感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
114. 患者から「死」に関する話題を出されたり、「死にたい」と言われた場合の対応に困難を感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
115. 「死にたい」と訴える患者に対する対応に困難を感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
116. 声や音識レベルの低下などで本人の意思が不明な患者への対応に困難を感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

117. 患者と家族のコミュニケーションが上手くいっていない場合の対応に困る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
118. 十分に病名告知や病状告知をされていない家族とのコミュニケーションが困難である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
119. 転移や予後など「悪い知らせ」を伝えられた後の家族への対応が難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
120. 家族と十分に話をする時間がとれない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
121. 家族から不安や心配を表出された場合の対応に困難を感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
122. 家族から「死」に関する話題を出された場合の対応に困難を感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<b>告知・病状説明に関すること</b>						
123. 患者への病名告知を十分に行えていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
124. 治療期の患者への治療や病状に関する説明を十分に行えていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
125. 終末期の患者への治療や病状に関する説明を十分に行えていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
126. 治療期の家族への治療や病状に関する説明を十分に行えてない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
127. 終末期の家族への治療や病状に関する説明を十分に行えてない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
128. 患者・家族が治療や病状、治療目的(延命や緩和治療であることなど)の説明内容を理解できていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

看護師のがん看護に対する困難感尺度

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspm/8/2/8\\_240/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspm/8/2/8_240/_article/-char/ja/) を一部改変して使用



**【AYA世代がん患者への診療・対応の促進/阻害要因】**

AYA世代がん患者への医師の診療の質の向上の妨げとなっていると考えられるものは何ですか。あてはまるものをお答えください。 \*

	特 に 不 足 を 感 じ  少 し 不 足  不 足  と も も 不 足
--	--

	て	い	な	い
129. 患者の疾患や治療に関する情報・知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
130. 患者に適した社会資源	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
131. 患者が必要とする情報や支援の必要性の理解	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
132. 患者に必要な療養環境、ハード面	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
133. 医師のマンパワー不足	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
134. 院内での多職種の連携不足	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
135. 院内でのコンサルテーションやスーパーバイズの体制不足	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
136. AYA世代がん患者に関する医師の専門性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
137. AYA世代がん患者に関するガイドライン・マニュアル	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
138. AYA世代がん患者に関する研修会やセミナーの不足	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
139. AYA世代がん患者への診療に関する多施設共同研究のネットワーク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
140. AYA世代患者への診療に関する多施設合同カンファレンス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
141. 専門家に相談できる多施設間のコンサルテーション・ネットワーク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**142.** その他、AYA世代がん患者家族の診療体制等についてのご意見をお聞かせください。(自由記述)  
\*

戻る

送信